



泉南市  
SENNAN CITY



# 泉南市学力向上プラン



令和 6 (2024) 年 3 月

泉南市教育委員会

花み  
sennan

## 1. 学力向上プランの策定について

1-1. 策定の趣旨	P 1
1-2. 計画の位置付け	P 1
1-3. 計画期間ならびに点検・評価	P 1

## 2. 全国学力・学習状況調査から

2-1. 現状と課題	P 2
2-2. 学力向上のための方向性	P 3

## 3. 学力向上に向けた取組

3-1. AI ドリルの活用	P 4
3-2. 市独自の学力検査等の実施、 大学教授・研究機関との共同研究	P 4
3-3. 泉南っ子日本一宣言にかかる取組の実施	P 5
3-4. 家庭・地域との連携	P 5
3-5. 指標と目標値	P 6

## 参考資料

・学力向上プラン イメージ図	P 7
・学力向上プラン 周知資料	P 8

# 1. 学力向上プランの策定について

## 1-1. 策定の趣旨

日本では、人口減少や高齢化が深刻な問題となる一方で、世界的にはグローバル化や多極化、地球環境問題などが進行しています。加えて、これからは「VUCA（ブーカ）時代」と言われるように変動性、不確実性、複雑性、曖昧性が高い状態となり、先行き不透明で将来の予測が困難な未来が待ち受けていると言われてしています。

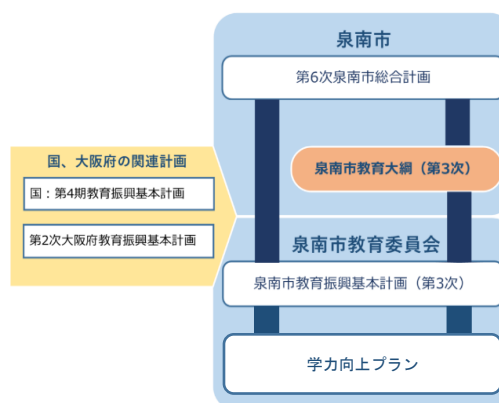
そのような中で、日本では「日本が目指す未来社会 Society5.0」に近づくため様々な取組が進められようとしています。現在の子どもたちには、このような未来にたくましく生き抜く力が必要となります。

泉南市教育委員会(以下「本市教育委員会」という。)では、令和5(2023)年3月に泉南市教育振興基本計画(第3次)を策定し、基本方針1「確かな学力と豊かな心を育成する」において学力向上を掲げています。また、「目指す子ども像」やそれを実現するための基本理念を示しつつ、子どもの学力向上に向けて、基礎的・基本的な知識や技能に加えて、思考力・判断力・表現力の育成と学習意欲の向上と学び続ける姿勢の育成に取り組んでいきます。

これらの状況から、本市教育委員会では子どもたちの現状を把握し、課題への対応を進めるために具体的な取組を「泉南市学力向上プラン」として策定することとしました。

## 1-2. 計画の位置付け

学力向上プランは、泉南市教育振興基本計画(第3次)が示す目標、方向性、それらの実現・達成に向け、子どもたちの学力面について、具体的取組などを表したものです。



## 1-3. 計画期間ならびに点検・評価

学力向上プランの計画期間は、令和6(2024)年度から令和8(2026)年度の3年間とし、令和8(2026)年度に現れる指標をもとに点検、評価、見直しを行います。なお、各年度末及び翌年度に現れる指標を確認し、適宜進捗状況の把握と検討を行います。

また、国の教育に関する方向性や社会状況等に大きな変化が生じた場合は、適宜必要な見直しを行います。



## 2. 全国学力・学習状況調査から

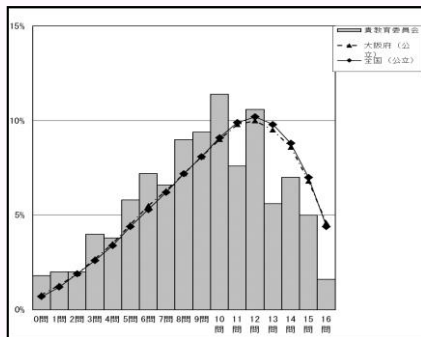
### 2-1. 現状と課題

令和5(2023)年に実施された全国学力・学習状況調査における本市の学力調査の結果では、

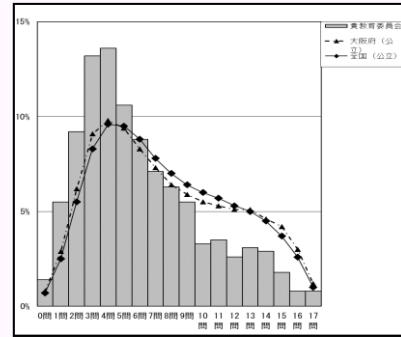
- ▶ 小中学校とも平均正答率は全国や大阪府より低い
- ▶ 小中学校とも全ての教科で「記述式問題」の正答率が低い
- ▶ 全国で正答率が高かった問題は本市でも高いものがあった
- ▶ 経年変化をみると小学校算数の平均正答率が低下傾向にある

などが特徴としてみられました。

さらに、次に示したグラフのように、学力の低い層の割合が高い傾向がみられ、基礎基本問題でのつまづき・未定着などの課題がみられました。



小学校算数

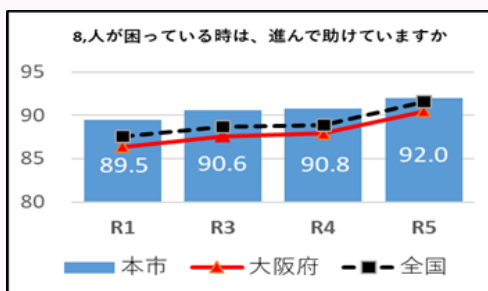


中学校英語

また、本市の児童生徒質問紙調査の結果では、次に示したグラフのように、

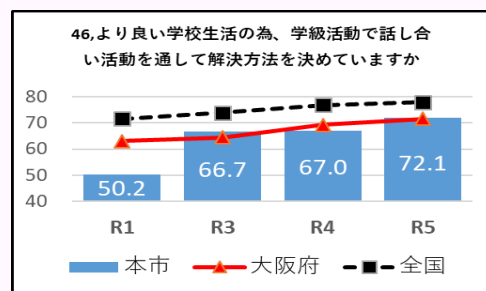
- ▶ より良い学校生活のため学級活動では話し合い解決方法を決めている
- ▶ 人が困っている時は進んで助けている

などの項目では肯定的な回答の数値が高くみられました。



小学校

人が困っている時は、進んで助けていますか				
	R1	R3	R4	R5
本市	89.5	90.6	90.8	92.0
大阪府	86.4	87.6	87.9	90.5
全国	87.6	88.7	88.9	91.6



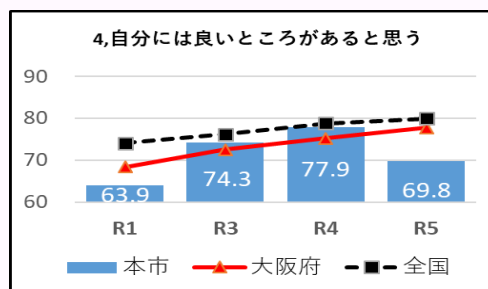
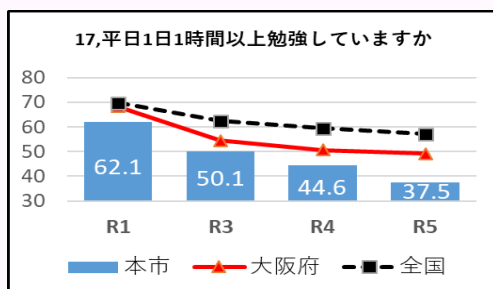
中学校

より良い学校生活の為、学級活動で話し合い活動を通して解決方法を決めていますか				
	R1	R3	R4	R5
本市	50.2	66.7	67.0	72.1
大阪府	63.0	64.5	69.2	71.6
全国	71.6	73.9	76.8	77.9

一方、次に示したグラフのように、

- ▶ 平日1日1時間以上勉強している
- ▶ 自分には良い所があると思う

などの項目では肯定的な回答の数値は低くみられました。



### 小学校

平日1日1時間以上勉強していますか				
	R1	R3	R4	R5
本市	62.1	50.1	44.6	37.5
大阪府	68.2	54.4	50.7	49.2
全国	69.8	62.5	59.4	57.1

### 中学校

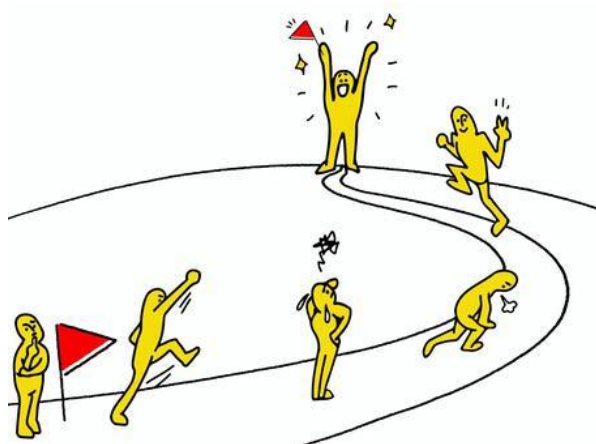
自分には良いところがあると思う				
	R1	R3	R4	R5
本市	63.9	74.3	77.9	69.8
大阪府	68.4	72.5	75.2	77.7
全国	74.1	76.2	78.8	80.0

\* 令和5(2023)年度 全国学力・学習状況調査 泉南市の結果はこちらから御確認いただけます。



## 2-2. 学力向上のための方向性

上記状況を踏まえ、本市教育委員会では「授業改善」「基礎基本の定着」「家庭学習時間」などの取組を進めること、また、各家庭や地域の皆様の協力のもと、「家庭学習時間」「自己肯定感・自尊感情」「夢や目標に向かう力」などの向上に向けた取組を深めることで、状況の改善を図り、「希望と力を持ち、たくましく生き抜く子ども」の育成に臨んでいきます。





### 3. 学力向上に向けた取組

本市教育委員会では、学力向上に向けた取組を進めるうえで必要な方向性として、テストなどで数値化し評価することができる、いわゆる「認知能力」と、思いやりや自信、協調性などの数値化できない認知能力以外の能力全般である、いわゆる「非認知能力」の両側面から捉え、アプローチを進めるため、次に示す取組を推進することとしました。

#### 3-1. AI ドリルの活用

令和5(2023)年7月より市内全小中学生を対象にAIドリルを導入しました。AIドリルは理解度に応じた出題や忘却曲線をもとにした出題などにより、一人一人に応じて個別最適化された学習が期待されます。これを授業に取り入れたり、特に家庭学習に浸透させその充実を図ったりしながら、基礎基本の定着をより一層進めていきます。

\* 泉南市ウェブサイトに掲載しているAIドリルについての紹介はこちらからご覧いただけます。

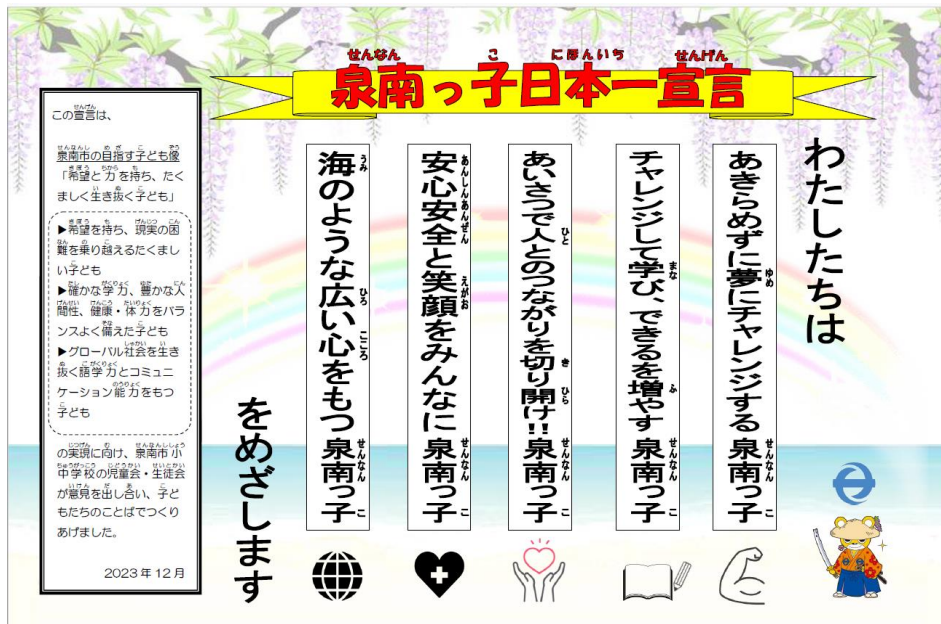


#### 3-2. 市独自の学力検査等の実施、大学教授・研究機関との共同研究

小学2年生から中学2年生までを対象に、民間作成の認知能力検査及び標準学力検査を実施します。これらの検査では、学びの土台となる5つの認知能力（記憶力、言語能力、数的能力、処理速度、思考力）の状況や、算数・数学のつまずきの様子などが具体的に分かるとともに、その能力が教科学習に反映できているかも分かります。

これらの検査結果を大学教授や研究機関とともに分析し、学校と共有することで、個や集団の状況を踏まえた指導の工夫や授業改善を進めていきます。





### 3-3. 泉南っ子日本一宣言にかかる取組の実施

泉南市教育振興基本計画(第3次)に示されためざす子ども像を実現するため、令和5(2023)年度に小中学生によって「泉南っ子日本一宣言」が掲げられました。子どもたちが考えためざす泉南っ子の姿を実現すべく、小学校児童会、中学校生徒会との連携をはじめ、各小中学校の様々な教育活動と連携し、取組を進めます。

令和6(2024)年6月から、子どもたちの素敵な姿や頑張っている姿などを賞賛する「KIRAMEKI ☆SUTEKI 泉南っ子」を実施します。子どもたちが考えた、めざす泉南っ子の姿を具現化しやすくし、子どもたちの輝く取組を進めることで、子どもたちの自尊感情や認め合う心などを育てていきます。

\* 泉南市ウェブサイトに掲載している「泉南っ子日本一

宣言」についての紹介はこちらからご覧いただけます。



### 3-4. 家庭・地域との連携

本市の子どもたちは、全国学力・学習状況調査における全国や大阪府の結果と比較して家庭における学習時間が短く、ゲームや動画視聴などに費やす時間が多いことが特徴的です。このような状況を改善し、子どもたちの健やかな成長を育てていくためには、御家庭や地域の皆様の御協力や連携が欠かせません。本市教育委員会学力向上対策室では、定期的な「学力向上対策室だより」の発信やウェブサイト等による情報発信を積極的に行っていきます。

\* 泉南市ウェブサイトに掲載している「学力向上

対策室だより」はこちらからご覧いただけます。



### 3-5. 指標と目標値

学力向上に向けた取組の成果を検証する指標として、以下に示す指標によって点検や評価を行います。令和8(2026)年度末までの3年の中で、各年度末及び翌年度に現れる指標を確認し、適宜進捗状況の把握と検討を行います。

【令和8年度末での目標値（令和8年度全国学力・学習状況調査の結果による検証）】

全国学力・学習状況調査における

○国語・算数(数学) 正答率(対府比)：小中学校とも 大阪府平均(対府比1.0)以上

正答率 (対府比)	R5(2023) 大阪府	R5(2023) 本市(現状値)	R8(2026) 本市(目標値)
小学校国語	1.0	0.92	府平均(1.0)以上
小学校算数	1.0	0.91	府平均(1.0)以上
中学校国語	1.0	0.89	府平均(1.0)以上
中学校数学	1.0	0.88	府平均(1.0)以上



○国語・算数(数学) 知識・技能正答率(対府比)：小中学校とも 大阪府平均(対府比1.0)以上

知識・技能 正答率 (対府比)	R5(2023) 大阪府	R5(2023) 本市(現状値)	R8(2026) 本市(目標値)
小学校国語	1.0	0.93	府平均(1.0)以上
小学校算数	1.0	0.92	府平均(1.0)以上
中学校国語	1.0	0.87	府平均(1.0)以上
中学校数学	1.0	0.90	府平均(1.0)以上



○質問紙調査における自己肯定感の肯定的回答割合：小学校90%以上、中学校80%以上

自己肯定感	R5(2023) 大阪府	R5(2023) 本市(現状値)	R8(2026) 本市(目標値)
小学校	82.2%	83.0%	90%以上
中学校	77.7%	69.8%	80%以上

○質問紙調査における平日の家庭学習の時間30分以上の割合：小中学校とも 80%以上

家庭学習 30分以上	R5(2023) 大阪府	R5(2023) 本市(現状値)	R8(2026) 本市(目標値)
小学校	73.6%	65.6%	80%以上
中学校	79.5%	71.3%	80%以上







せんなんし こ  
**泉南市の子どもたちが**  
しょうらい せんたくし ふ ちから  
**将来の選択肢を増やせるような力をつける**

○学力

知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や、自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力等までを含めたもの

(「初等中等教育における当面の教育課程及び指導の充実・改善方策について(答申)2 子どもたちに求められる学力についての基本的な考え方」より)

せんなんし がくりよくこうじょう  
泉南市では「学力向上」を、テストなどで数値化し評価することが  
できる、いわゆる「認知能力」と、おも いやいや じしん きょうちょうせい  
思いやいや自信、協調性などの  
数値化できない認知能力以外の能力全般である、いわゆる  
「非認知能力」の両側面から捉え、アプローチを進めるのでござる！



かつよう  
**AIDRILの活用**

きそきほん ていちゃく  
基礎基本の定着  
かていがくしゅうじかん こうじょう  
家庭学習時間の向上

せんなん こ にほんいちせんげん  
泉南っ子日本一宣言

せんなん こ  
KIRAMEKI☆SUTEKI泉南っ子  
めざ すがた ぐげんか じつげん  
目指す姿の具現化・実現

がくりよくけんさとう じっし  
学力検査等の実施  
だいがく けんきゅうきかん きょうどうけんさう  
大学・研究機関との共同研究

じゅぎょうかいぜん  
授業改善  
こ おう しどう くふう  
個に応じた指導の工夫

がくりよくこうじょうたいさくしつ ぱんこう  
学力向上対策室だよりの発行

じょうほうはっしん きょうゆう  
情報発信・共有  
かてい とち  
家庭と共に

にんちのうりよく  
認知能力

ひにんちのうりよく  
非認知能力

せんなんし めざ こ ぞう  
泉南市の目指す子ども像

きぼう ちから も いぬ こ  
**「希望と力を持ち、たくましく生き抜く子ども」**



かてい ちいき がっこう ちから あ こ ちから はくく  
家庭・地域・学校が力を合わせて子どもたちの力を育ていける  
よう、ごりかいごきょうりよく ねが  
よう、御理解御協力をお願いするでござる。

せんなんしがくりょくこうじょう  
泉南市学力向上プラン

泉南市では、令和5年3月に第3次となる泉南市教育振興基本計画を策定し、目指す子ども像を「希望と力を持ち、たくましく生き抜く子ども」としています。そのために、

- ▶希望を持ち、現実の困難を乗り越えるたくましい子ども
- ▶確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく備えた子ども
- ▶グローバル社会を生き抜く語学力とコミュニケーション能力を持つ子どもを育成することを目指しています。

令和5年に実施された全国学力・学習状況調査における学力調査の結果では、

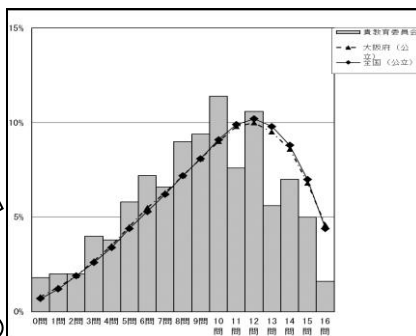
棒グラフが折れ線グラフより上に出ている部分が、左側に多い。

学力の低い層の割合が高い

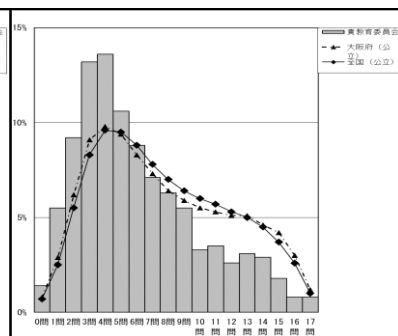
基礎基本問題でのつまづき・未定着

授業改善による子に応じた指導の工夫

AIドリルでの個に応じた反復



小学校算数

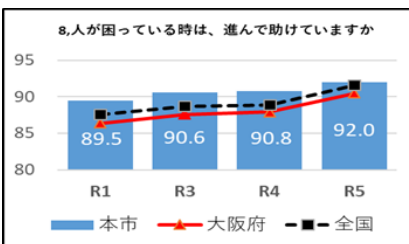


中学校英語

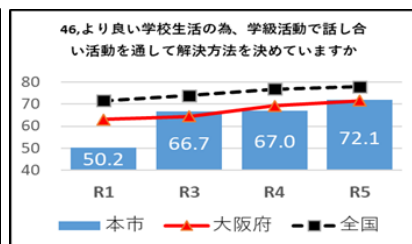
などの傾向がみられました。また、児童生徒質問紙調査の結果では、

◇より良い学校生活のため学級活動では話し合い解決方法を決めている

◇人が困っている時は進んで助けている  
などで肯定的な回答の数値が高い



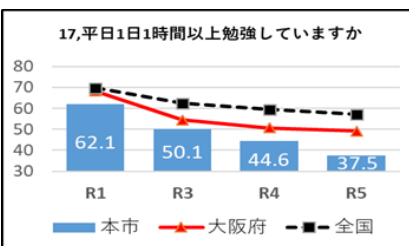
小学校



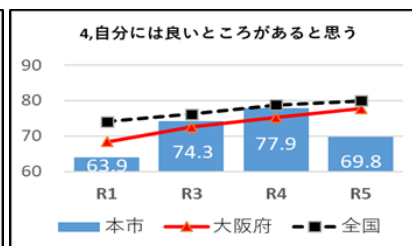
中学校

◆平日1日1時間以上勉強している  
◆自分には良い所があると思うなどで肯定的な回答の数値が低い

家庭学習時間の定着・向上  
自己肯定感を高める取組



小学校



中学校

などの傾向がみられました。

泉南市の全国学力学習状況調査の結果は

こちらから→



これらの状況を踏まえ、泉南市では「授業改善」「基礎基本の定着」「家庭学習時間」などの取組を深めること、また、各御家庭や地域の皆様の御協力の元、「家庭学習時間」「自己肯定感・自尊感情」「夢や目標に向かう力」などの向上に向けた取組を深めることで、状況の改善を図り、「希望と力を持ち、たくましく生き抜く子ども」の育成に臨んでまいりたいと考えております。

前ページには、より具体的な今後の施策や御知りおきいただきたい部分について示しています。

泉南市のすべての子どもに関わる、御家族、地域、学校が共に力を合わせ、子どもたちの健やかな成長を育んでいくことができるよう、御理解御協力をお願いします。

## 子どもたちの心と体の安心・安定が大切

かていがくしゅうせいにかつしゅうかん  
家庭学習や生活習慣をチェックしてみましょう

①～⑩のチェック内容で、できているものに○をつけてみましょう。

子ども チェック	子どもチェック内容	保護者 チェック	保護者チェック内容
	① 早起きをしている（学校へ出かける1時間前には起きる）。		① お子さんが学校へ行く1時間前には起きています。
	② 朝ごはんを毎日食べている。		② お子さんが朝ごはんを食べられるようにしている。
	③ 昼間は、からだをたくさん動かしている。		③ お子さんと家で積極的に会話をしている。
	④ 決まった時間に、食事をしたり寝たりしている。		④ お子さんが決まった時間に、食事をしたり寝たりできるよう気を付けている。
	⑤ 決まった時間に、家で勉強している（宿題・予習・復習など）。		⑤ お子さんの勉強の内容を把握している。
	⑥ 前の日に次の日の準備をしている。		⑥ お子さんの次の日の予定を把握している。
	⑦ 携帯電話やスマートフォン・TVゲームなどの使い方のルールを決めている。		⑦ お子さんの携帯電話やスマートフォン・TVゲームなどの使い方のルールを決めている。
	⑧ 家の手伝いをすすんでしている。		⑧ お子さんが手伝ってくれた時に「ありがとう」と言っている。
	⑨ 自分からすすんであいさつしている。		⑨ あいさつをすすんでしている。
	⑩ ルールやマナーを守っている。		⑩ 社会のルールやマナーを守っている。

○が：9個以上 すばらしい！！  
5～8個 そのちょうし！  
4個以下 すこしずつふやしていこう

○が：9個以上 すばらしい！！  
5～8個 そのちょうし！  
4個以下 すこしずつふやしていこう

### 学校では

相談期間の設定や相談窓口の周知、アンケートの実施

SOSの声をキャッチできる教職員の受信力の向上並びに体制づくりの推進

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置

安心・安全につながる学校づくり

学力向上対策室からも様々な情報を発信しています。



\*ウェブサイトはこちら



\*学力向上対策室だよりはこちら



\* その他、子育てや学校生活などの悩みがあれば、御相談ください。

泉南市 ◆学力向上対策室：072-483-3673

◆指導課：072-483-3671

◆人権国際教育課：072-483-3672

◆みんなのよし(青少年センター)：072-484-3500

◆子ども総合支援センター：072-482-4168

◆家庭児童相談室：072-485-1586

